

令和7年度 長崎県立大学

すべての会場の講座がながさき県民大学の
連携講座となっています

学術講演会

参加
無料

講演時間 18:30～20:00(90分) 質疑応答含む

どなたでも参加できます

令和7年

8/1

金曜日



現代日本の政治過程： 2025年参院選を視野に

講師／白鳥 浩氏

法政大学大学院
教授

主会場 佐世保校

遠隔会場 シーボルト校

令和7年

10/3

金曜日



幸福・健康な人が多いまちづくり

講師／近藤克則氏

千葉大学 名誉教授、グランドフェロー
予防医学センター
健康まちづくり共同研究部門 特任教授
一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 研究部長

主会場 シーボルト校

遠隔会場 佐世保校

令和7年

10/16

木曜日



深宇宙探査計画と 月面長期滞在に向けた取り組み

講師／大熊隼人氏

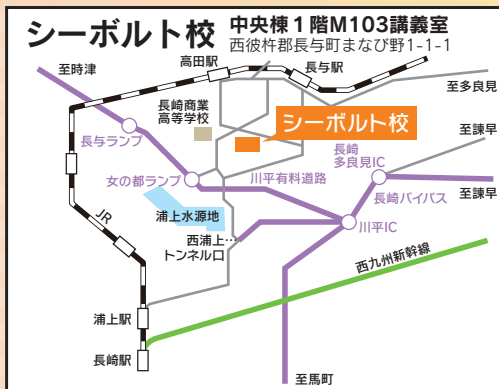
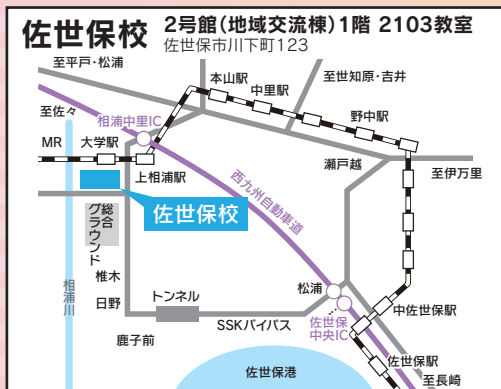
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
主任研究開発員

主会場 シーボルト校

遠隔会場 佐世保校

会場
案内

駐車場
あり



遠隔会場には主会場から
Web会議システムにより
映像を配信します

本学の様々な情報は
WEBでご覧いただけます

ホームページ

Facebook



主催／長崎県立大学 後援／長崎県教育委員会、佐世保市、長与町

お問い合わせ



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

佐世保校
シーボルト校

〈企画広報課〉
〈総務企画課〉

TEL 0956-47-5856
TEL 095-813-5735

学術講演会〈講演内容〉

講演時間／18:30～20:00(質疑応答含む)

参加無料

どなたでも参加できます

令和7年

8/1

金曜日

【主会場】佐世保校
【遠隔会場】シーボルト校



現代日本の政治過程:2025年参院選を視野に

2024年総選挙の結果、石破内閣は「少数与党内閣」となりました。
2012年の自公政権の政権奪還以来続いていた「一強多弱」状態から、この「与野党伯仲」状態への変化は、日本政治の政治過程に大きな変化を及ぼしました。
石破政権は「国際的」な、ウクライナ戦争に由来する輸入品の物価高、特にエネルギー高という課題のみならず、「国内的」な、コメ価格の高騰や、「政治とカネ」などの政策課題に加え、「少数与党」として政権運営を行うという課題にも対峙することになりました。こうした現代日本の政治過程を分析します。

【講師】

白鳥 浩氏

法政大学大学院
教授

【経歴】 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程に学び、長崎県立大学専任講師、静岡大学助教授などを経て、現在、法政大学大学院公共政策研究科教授。
日本政治学会理事、日本地方政治学会・地域政治学会理事長を経て、日本政治法律学会理事長を務める。
ノルウェー オスロ大学政治研究所客員研究員、ドイツ マンハイム大学客員教授、イギリス オックスフォード大学客員フェロー。専攻は現代政治分析。
特に日本の地方政治、現代日本政治に関心を持ち、各種メディアにおけるコメントでは的確な解説が定評を得ている。ヤフーニュース公式コメンテーター(エキスパート)。

【著書】

『市民・選挙・政党・国家』（東海大学出版会）
『都市対地方の日本政治』（芦書房）
『現代日本の選挙』（ミネルヴァ書房）シリーズ
『現代日本の総選挙』（法律文化社）シリーズ

令和7年

10/3

金曜日

【主会場】シーボルト校
【遠隔会場】佐世保校



幸福・健康な人が多いまちづくり

日本の高齢者延べ100万人のデータを使って、200市町村を比べてみると、幸福な人が多いまちがみつかりました。それは健康な人が多いまちでもありました。
では、どのような要因が関連しているのか。
それを調べ、まちづくりに応用できないかという研究に取り組んでいます。
見えてきた幸福・健康(ウェルビーイング)な人が多いまちの特徴や、そんなまちづくりの方法についてお話しします。

【講師】

近藤 克則氏

千葉大学 名誉教授、グランドフェロー
予防医学センター
健康まちづくり共同研究部門
特任教授
一般財団法人
医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 研究部長

【経歴】 1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院リハビリテーション部医員、船橋二和病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury (イギリス)客員研究員(2000-2001)、日本福祉大学教授を経て、2014年から千葉大学予防医学センター教授。2016年から国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学部研究センター 老年学評価研究部長(併任)。2018年から2024年(一社)日本老年学的評価研究機構 代表理事(併任)。2024年から千葉大学名誉教授、グランドフェロー、予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門 特任教授。(一財)医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部長。京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座 非常勤研究員。京都大学Beyond 2050社会的共通資本研究部門 特任教授(非常勤研究員)。日本福祉大学 客員教授。

【著書】

『健康格差社会への処方箋』（医学書院 2017）
『研究の育て方』（医学書院 2018）
『長生きできる町』（角川新書 2018）
『健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか、第2版』（医学書院 2022）

令和7年

10/16

木曜日

【主会場】シーボルト校
【遠隔会場】佐世保校



深宇宙探査計画と月面長期滞在に向けた取り組み

昨今、月・火星探査は国際的に活発化しており、NASAのアルテミス計画をはじめ、日本や欧州も月探査ミッションに参画しています。
月では有人着陸や資源調査、火星では無人探査機による地形・気象観測などが進行中です。
また、将来的な月面長期滞在へ向けた取り組みとして、食料自給自足を目標に、閉鎖循環型植物栽培の実現に向けた研究開発が進められています。
その中では、省リソースでの栽培技術や資源循環型システムの構築が検討されており、地球からの物資輸送を最小限に抑えることを目指しています。

【講師】

大熊 隼人氏

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構(JAXA)
主任研究開発員

【経歴】

2008年からISS日本実験棟「きぼう」の地上管制官として宇宙実験運用管制業務に従事。
2012年から日本実験棟「きぼう」に搭載する実験装置開発に従事。
2022年からは宇宙探査イノベーションハブにて将来の宇宙探査に必要な要素技術に関する民間企業との共同研究推進を行う。